

令和3年3月定例会議

陳 情 文 書 表

陳情第1号

生ごみ減量化推進と「キエーロ」指定のための陳情書

陳情文書表

【令和3年3月定例会議】

受理年月日	受理番号	提出者	付託委員会
令和3年3月3日	陳情第1号	小松島市坂野町字黒地6番地の11 上甲 雅敏	文教厚生 常任委員会

(件名・要旨)

生ごみ減量化推進と「キエーロ」指定のための陳情書

【陳情の要旨】

小松島市は2018年のデータによると年間約15000tのごみを出している。そのうち約12000tが小松島市環境衛生センターで焼却処分され、焼却灰など約1700tの最終処分物が赤石地区一般廃棄物最終処分場で埋め立て処理されている。そして、ごみ処分に年間約7億円もの経費がかかっている。

焼却処分されている可燃物の主要なものが生ごみであり、生物資源である。すなわち、生物資源を化石資源を使って焼却し、しかも地球温暖化の原因物質を排出し、焼却灰は埋め立て処分されている。

これからの社会は、地球温暖化防止に向けた温室効果ガスの削減を目指すべきであり、環境負荷低減に向けて、ごみ減量化の取り組みによる持続可能な循環型社会の構築が求められている。とりわけ小松島市は、ごみ排出量が他の類似自治体と比べても多いため、すべての市民が一致協力してごみ減量化に取り組まなければならない。

生ごみ減量化を推進していくためには、生ごみ減量化を試みる人々を激励し、手厚く補助し、かつ失敗を放置せず、いやむしろ失敗の報告を歓迎し、一緒になって失敗を克服し、成功に導くことが必要不可欠である。その目的をもって色々な生ごみ処理器を分析し、「自分にもできるかもしれない」「やってみたい」「日々ごみの量が減っていくのが楽しみだ」と感じるような具体的施策が必要である。「キエーロ」はそのための強力な道具となりえるはずである。

(数値は小松島市一般廃棄物処理基本計画より)

よって、下記陳情項目は市にとって必要であるため採択していただくとともに、市に対し強く働きかけるよう陳情する。

【陳情項目】

生ごみ減量化を推進する。

その一環として「キエーロ」を財政補助対象の処理機の一つとして追加指定し、購入にあたって財政援助するとともに、市民への普及に努める。